

奄美海上保安部便り 第68号

- ・第68号は2023年6月から2023年7月までの活動状況などを掲載しております。
- ・奄美海上保安部ホームページはこちら <https://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/amami/>



円小学校で海岸清掃、未来に残そう「きよら海」

6月14日、奄美大島の龍郷町立円小学校の児童7名、教諭7名、保護者や地域住民4名と奄美海上保安部の海上保安官3名の計21名が円海岸を清掃、約160kgもの漂着ゴミを回収、分別調査しました。児童らは「海をきれいにする事の大切さ」を学びました。



宇宿小学校で薬物乱用防止教室を開催

6月22日、奄美市笠利町宇宿の奄美市立宇宿小学校で奄美海上保安部の海上保安官2名が「薬物乱用防止教室」を開催、5年生と6年生の児童9名と教諭2名が参加しました。

薬物依存の恐ろしさと誘われた時の断り方などを学んだ児童らは、薬物に手を出さないことを誓い「ダメ・ゼッタイ」を約束しました。



小宿幼稚園で海洋環境教室を開催

6月28日、奄美市の小宿幼稚園で奄美海上保安部の海上保安官ら4名が海洋環境教室を開催、園児24名に環境紙芝居「うみがめマリンの大冒険」を読み聞かせ、「海をきれいにすることの大切さ」を伝えました。海上保安庁のマスコットキャラクター「うみまる」も登場、みんなで記念撮影も行いました。



名瀬幼稚園で海洋環境教室を開催

6月30日、奄美市の名瀬幼稚園で奄美海上保安部の海上保安官ら4名が海洋環境教室を開催、園児47名に環境紙芝居「クロピョンの海賊退治」を読み聞かせ、「海を汚すことは悪いこと」を伝えました。海上保安庁のマスコットキャラクター「うみまる」も登場、みんなで記念撮影も行いました。



東城中学校で薬物乱用防止教室を開催

7月13日、奄美市住用町の奄美市立東城小中学校で奄美海上保安部の海上保安官2名が「薬物乱用防止教室」を開催、中学生9名と教諭10名が参加しました。

薬物の種類や薬物が身体に与える影響、薬物依存の恐ろしさと誘われた時の断り方などを学んだ生徒らは、薬物に手を出さないことを誓い「ダメ・ゼッタイ」を約束しました。

新聞2社が取材、広く報道されました。



東城中学校の生徒が海上保安官の職場体験

7月5～7日、奄美市住用町の東城中学校の生徒が海上保安官の職場を体験しました。

5日は奄美海上保安部で、心肺蘇生法や搬送法とロープワーク体験。6日は奄美市笠利町の笠利埼灯台で灯台の機器の点検や奄美漁協(本所・龍郷支所)で漁船海難防止の呼びかけを体験。7日は指紋採取体験や巡視船「あまぎ」の船内外の見学などを行い、写真付きの修了証をもらいました。



心肺蘇生法体験



笠利埼灯台で機器の点検体験



指紋採取体験



巡視船「あまぎ」見学



写真付の修了証贈呈

大島支庁記者クラブと懇談会

6月19日、大島支庁記者クラブ所属報道機関からの要請で、奄美海上保安部で記者懇談会を開催しました。11の報道機関の11名の記者が参加、奄美海上保安部長が海上保安庁及び奄美海上保安部の業務などについて説明、参加者から多くの質問がありました。

海上保安業務への引き続きの御理解とご協力もお願いいたしました。



奄美群島の5つの高校で海上保安官採用トップセールス

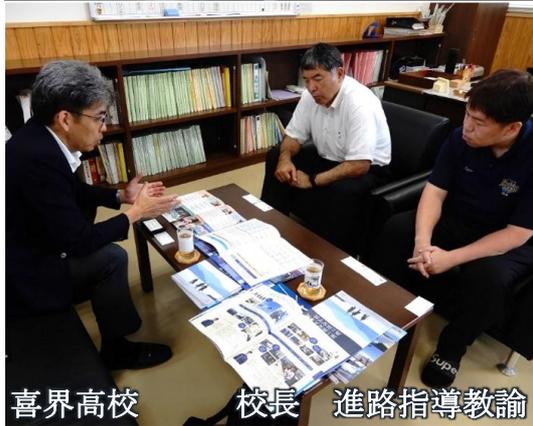
7月5日、奄美高校と大島北高校で、7月6日、喜界高校で、7月18日、樟南第二高校と徳之島高校で奄美海上保安部長が各校の校長などへトップセールスを行いました。海上保安業務及び海上保安大学校と海上保安学校の学生採用試験の日程や**学びながら給与が支給**され**各種資格を取得**できること、海上保安大学校は卒業すると**学士**が与えられ**司法試験の一次試験が免除**となるなどの特典を説明、「奄美群島の美しい海を守る海上保安官を奄美群島から」とお願いいたしました。



奄美高校 教頭 校長



校長 大島北高校



喜界高校 校長 進路指導教諭



徳之島高校 校長 進路指導教諭



樟南第二高校 校長

大島高校に感謝状を謹呈、海洋環境保全と118番の周知啓発に貢献

7月20日、大島高校で奄美海上保安部長が、昨年、「海洋環境保全」と「海の緊急電話番号118番」の周知啓発に書道パフォーマンスで協力いただいた大島高校(書道部)に感謝状を謹呈いたしました。あわせて、全校生徒に海上保安庁をご紹介、「奄美の美しい海の安全・安心を守る海上保安官を奄美から」とお願いいたしました。



感謝状謹呈



記念撮影



海上保安庁紹介・海上保安官募集

奄美_屋仁川「さたぜえないとふえすていバル」

6月25日、奄美大島最大の繁華街、屋仁川で4年振りに「さたぜえないとふえすていバル」が開催されました。奄美海上保安部は、海上保安官の制服試着コーナーとVR(バーチャルリアリティ)ゴーグル体験コーナーを開催、子供や保護者が制服を試着して記念撮影、VRゴーグルを装着してヘリコプターから海上へ降下する訓練動画や巡視船が流水を割って進む動画などを体験、その迫力に歓声や悲鳴が響き、多くの皆様に海上保安業務をご理解いただくことができました。

さらに、特設ステージでは「屋仁川ボーイズコレクション」と題して、巡視船「かいもん」の乗組員らが、制服や潜水服などファッションショーを展開、大歓声があがりました。



海上保安官の制服試着



海上保安官の制服試着



海上保安官の制服試着



VRゴーグル体験



VRゴーグル体験



VRゴーグル体験





屋仁川ボーイズコレクション



高さ制限 4.5M

「やんご」生誕100年記念



屋仁川ボーイズコレクション

ラジオ工作教室を開催 ～夏休みの自由研究を応援～

奄美群島の日本復帰 70 年にあたり、奄美の皆様のご理解とご協力に感謝を込めて、7月23日、奄美市市民交流センターでラジオ工作教室を開催しました。教室には午前と午後あわせて小学生の児童 40 名とその保護者らが参加、完成したラジオからニュースなどの声が聞こえると満面の笑み、奄美の FM 放送などを夢中で聞き入りました。そして完成したラジオはお土産にお持ち帰りました。教室では、(一財)日本航路標識協会と日本無線株のボランティアスタッフにご協力して頂きました。また、夏休み中の水難事故防止のために、浮き遊具の危険性やライフジャケットの常時着用などの啓発も行いました。



工作ラジオ



ハブ講習、咬傷予防

6月19日、奄美海上保安部で名瀬保健所によるハブ咬傷予防講習が開催されました。

今年4月に赴任したばかりの職員らが参加、「ハブ咬傷事故」を防ぐため、奄美に生息する毒蛇「ハブ」の生態と安全な対応方法などを学びました。



ハブの生態や対応方法の座学



ハブの安全な捕獲方法の体験

巡視船「あまぎ」

◇ 6月9日、名瀬港で巡視船「あまぎ」は遭難船の救助のための曳航手順の確認訓練を行いました。実際に曳航用ロープ約400mを甲板に繰り出して手順を確認、迅速・確実な救助に備えました。



曳航用ロープの繰出し

◇ 6月11日、巡視船「あまぎ」の乗組員らが、けん銃の取扱訓練を行いました。



けん銃奪取防止訓練



けん銃取扱い訓練

◇ 6月14日、巡視船「あまぎ」は与論島の与論港茶花地区に入港、急患搬送や非常災害時の対応に備え、地勢確認と岸壁等の港湾調査を行うとともに、与論高校を訪問、船長らが教諭へ、海上保安大学校と海上保安学校の学生採用や海上保安庁の業務について説明、「与論島の美しい海を守る海上保安官を与論高校から」とお願いいたしました。



海上保安大学校と海上保安学校の説明



進路指導教諭 船長 教頭

◇ 6月25日、徳之島で「第36回トリアスロン IN 徳之島」が6年振りに完全開催、総合の部とリレーの部に全国から480名の鉄人らが参加、スイムが行われた天城町のヨナマビーチ沖で巡視船「あまぎ」が海上警戒を行い、奄美海上保安部長が大会本部で対応しました。大会の成功裏にあたり徳之島町長、天城町長、伊仙町長や大会関係者から「あまぎ」による海上警戒に謝意が述べられました。



海上警戒中の巡視船「あまぎ」



大会本部で対応する奄美海上保安部長(中央)

◇ 7月4日、巡視船「あまぎ」は沖永良部島の伊延港に入港、急患搬送や非常災害時の対応に備え、地勢確認と岸壁等の港湾調査を行うとともに、沖永良部高校を訪問、船長らが教諭へ、海上保安大学校と海上保安学校の学生採用や海上保安庁の業務について説明、「沖永良部島の美しい海を守る海上保安官を沖永良部高校から」とお願いいたしました。



進路指導教諭 船長 校長

巡視船「かいもん」

◇ 6月15日、名瀬港で巡視船「かいもん」は遭難船救助のための曳航手順の確認訓練を行いました。曳航用ロープを甲板に繰り出して手順を確認、迅速・確実な救助に備えました。



曳航用ロープの繰出し



シャックルで曳航用ロープを結合

◇ 6月21日、奄美市の伊津部武道場で巡視船「かいもん」は、相手の勢力を押しえつめるための制圧訓練を行いました。基本五技(きほんごわざ：手首固め、肘押さえ、小手返し、腕ひねり、脇抱え※何れも関節技)や乱取りに、国民と自身を守るために懸命に取り組みました。これからも定期的に訓練を行い、技能の修得と制圧能力の向上に努めます。



小手返しの訓練



小手返しの訓練



乱取りの訓練

- ◇ 6月26日、大島高校出身の巡視船「かいもん」船長が母校で、後輩の生徒らと教諭へ、海上保安業務、海上保安学校と海上保安大学の生活や採用試験などについて説明、「美しい奄美の海の安全・安心を守る海上保安官を奄美から」とお願いいたしました。



巡視艇「いそなみ」・古仁屋海上保安署

- ◇ 6月10日、瀬戸内町の加計呂麻島の西阿室海岸で、巡視艇「いそなみ」の潜水士2名と古仁屋海上保安署の海上保安官1名が水上安全教室を開催、瀬戸内町立西阿室小学校の児童4名と教諭4名が参加しました。

危険な離岸流のしくみと巻き込まれた時の脱出方法、救命胴衣の着用とペットボトルを使用した救助の体験や海洋環境を守ることにについて一所懸命に学びました。



救命胴衣着用体験



ペットボトル救助体験



海洋環境教室

- ◇ 6月19日、巡視艇「いそなみ」と潜水士らが、潜水訓練やヘリコプターから降下して遭難者を吊上げ救助する訓練と、小型船を曳航救助する際の曳航用ロープの取付などの手順を確認し、迅速・確実な救助に備えました。



潜水訓練



吊上げ救助訓練



小型船の曳航手順確認

◇ 6月17日、瀬戸内町の与路島の与路港で、巡視艇「いそなみ」の乗組員や潜水士と古仁屋海上保安署の海上保安官が水上安全教室を開催、与路小中学校の児童生徒6名と教諭が参加しました。あいにくの悪天候のため「いそなみ」船内で座学中心に開催、危険な離岸流のしくみと巻き込まれた時の脱出方法、危険な海洋生物や自己救命3つの基本(救命胴衣着用、連絡手段の確保、海の緊急電話118番)等、特に与路島は無医島で、教諭らはもしもに備え心肺蘇生法も学びました。そして、「いそなみ」の船内見学も行いました。



記念撮影



水上安全教室



船内見学

◇ 7月2日、古仁屋港周辺の大島海峡で「奄美シーカヤックマラソン I N加計呂麻」が開催され、全国からシーカヤック 212 艇(339 名)が参加、巡視艇「いそなみ」及び古仁屋海上保安署の海上保安官が海域の警戒などを行いました。大会は、事故もなく成功裏に終了しました。



海域警戒中の巡視艇「いそなみ」(右上)

- 7月7日、瀬戸内町立油井小中学校の体育館で古仁屋海上保安署職員と巡視艇「いそなみ」の乗組員が水上安全教室を開催、教諭と保護者あわせて10名が参加、心肺蘇生法などの講習を受講、7月8日、瀬戸内町白浜海岸でも古仁屋海上保安署職員と巡視艇「いそなみ」の乗組員が水上安全教室を開催、篠川小中学校の児童生徒6名が参加、ペットボトルなどを使用した救助体験や海で楽しく遊ぶポイントなどを学び、夏休みの海でのもしもに備えました。



7/8 ペットボトルを使用した救助法体験



7/7 心肺蘇生法講習



7/8 海で楽しく遊ぶポイント学習

- 7月13日、14日、奄美大島の瀬戸内町立古仁屋小学校で、古仁屋海上保安署巡視艇「いそなみ」の潜水士らが、水上安全教室を開催、夏休み前の児童らが参加、「浮いて助けを待つ」ための「背浮き」や「ペットボトルを利用した浮力確保方法」などを学びました。



- 7月16日、奄美大島の瀬戸内町の手安ヘリポートで巡視艇「いそなみ」の潜水士らが、鹿児島海上保安部の巡視船「しゅんこう」のヘリコプターと合同で、ヘリコプターから降下して救助するためのヘリレスキュー訓練を行い、海のもしもに備えました。



潜水士がヘリから降下



エバックハーネスで遭難者と潜水士を吊上げ



ストレッチャーに遭難者を固定



ストレッチャーで遭難者と潜水士を吊上げ

※ エバックハーネス:救助隊員を降下させたり、要救助者をヘリコプターの機内に吊上げ収容したりする時に使用する器具。スピーディに縛着が可能で比較的軽傷の要救助者に使用する。

※ ストレッチャー:自力で動けないケガ人や病人を寝たまま搬送するための器具。

台風シーズンを前に安全対策を確認、名瀬港台風津波等対策委員会

6月16日、奄美海上保安部で名瀬港台風津波等対策委員会を開催、名瀬港の関係者が安全対策等を確認しました。台風接近や津波発生時の情報伝達手段についての規則も改正、これまでのFAXから電子メールに変更して確実性と利便性を向上させました。名瀬測候所の池内予報官が「奄美地方の台風と津波」と題して講演、聴講の会員各位の知識が向上しました。新聞1社が取材、広く報道されました。



台風シーズン前にフェリーを訪船、台風海難防止を呼びかけ

6月27日、名瀬港佐大熊岸壁で、奄美海上保安部の海上保安官3名が着岸中の十島村の「フェリーとしま2」(1953総トン)を訪船、台風海難防止のために早目の台風情報収集開始、早目の安全な海域での避泊、錨泊中の適切な走錨監視と国際VHFの常時聴取ならびに船舶自動識別装置(AIS)の常時電源ONを呼びかけました。新聞2社が取材、広く報道されました。



本格的なマリンレジャーシーズンを前に海上安全指導員と情報交換

6月23日、奄美海上保安部で奄美群島の海上安全指導員*8名と奄美海上保安部の海上保安官が連絡会を開催、本格的なマリンレジャーシーズンを前に、事故防止啓発活動方針の確認や情報交換などを行いました。

※ 海上安全指導員：第十管区海上保安本部長が指定する、マリンレジャーなどの事故防止啓発活動等を行うボランティア、現在、奄美群島では8名が指定されています。



奄美大島の海岸で3名が流されるなどして、うち1名が溺死

7月5日、奄美大島の芦徳海岸で遊泳中の親子3名が流されるなどして、うち1名が溺死する悲しい事故が発生しました。7月7日、このような溺水事故の再発防止のために奄美海上保安部の海上保安官2名が、付近の宿泊施設など10箇所で、「遊泳の際の気象・海象の事前確認」や「ライフジャケット着用」等の安全対策について、宿泊客への周知啓発等の協力をお願いいたしました。

「マリンフェスタ」で夏休み前の子供らに水上安全教室を開催

7月9日、鹿児島県青少年自然の家の要請で、奄美市の朝仁海岸で開催された「マリンフェスタ」で水上安全教室を開催、夏休み前の子供と保護者あわせて136名が参加しました。子供らは「海に入る時には必ず救命胴衣を着用すること」、「正しい救命胴衣の着用方法」、「溺れたら浮いて助けを待つこと」、「溺れた人を見つけたら周囲に助けを求めること」、「ペットボトルを使用した救助法」などを学び、夏休みの海でのもしものに備えました。



奄美大島の大和中学校で水上安全教室を開催

7月12日、夏休み前の大和村立大和中学校で、奄美海上保安部の海上保安官3名が水上安全教室を開催、生徒24名と教諭12名が参加、危険な離岸流のしくみと巻き込まれた時の脱出方法、自己救命3つの基本(救命胴衣着用、連絡手段の確保、海の緊急電話118番)や救命胴衣の着用体験等、海での安全を学びました。



危険な離岸流のしくみと脱出方法の説明



救命胴衣着用体験

一日海上保安官が海の事故防止を呼びかけ

7月16日、龍郷町の地域おこし協力隊の「川崎 光緑(かわさき みろく)」さまが、奄美海上保安部長から一日海上保安官に任命され、龍郷町職員、警察官、消防士や海上保安官と合同で、奄美空港で空港利用者へ、龍郷町手広海岸ではマリンレジャー愛好者へ、「奄美の美しい海で安全にマリンレジャーを楽しみましょう。」と呼びかけました。



一日海上保安官に任命



奄美空港



龍郷町の手広海岸

観光情報誌でマリンレジャーでの事故防止呼びかけ

6月1日、観光情報誌「奄美夢島」に「マリンレジャーでの事故防止の呼びかけ」が掲載されました。情報誌は年間20万部以上発行、空港、フェリーターミナル、コンビニやホテルなど奄美大島内の至る所に置かれ、観光客をはじめ誰もが手にするフリーペーパー、事故防止に大きな効果が期待されます。

海上保安協会奄美支部のご協力で掲載、使用したキャラクターは鹿児島県立奄美高校の生徒がデザイン、コロナ禍も和んで島外からの観光客も増加傾向の今年「豊かで美しい奄美群島の海を安全に楽しんで！」の願いを込めて呼びかけます。

海のもしもは118番

スノーケリングを楽しむために!!

- ◆ スノーケルクリアを習得
- ◆ ライフジャケット着用
- ◆ 浅い穏やかな海で
- ◆ 二人以上で

水中マスク
ライフジャケット
スノーケル
フィン(足ヒレ)

スノーケリング必須4点セット

Water Safety Guide
海上保安庁

詳細はこちら→

協力:鹿児島県立奄美高校 JCG 奄美海上保安部/(公財)海上保安協会 奄美支部

海上保安官があまみのFMラジオ 77.7MHz に生出演

◇ 6月1日、奄美海上保安部の海上保安官2名が生出演、「海洋環境保全推進月間」と「台風海難防止強調運動」をお知らせしました。海や川にごみを捨てないこと、「海上保安庁図画コンクール」のお知らせと応募もお願いしました。台風2号が奄美群島に接近中でタイムリーなお知らせともなりました。



◇ 7月6日、奄美海上保安部の海上保安官2名が生出演、「海の日」の由来と海の日海事功労者表彰式典の予定、「海上保安大学校と海上保安学校の学生採用試験」の予定、「小学生夏休み自由研究応援企画」の予定などをお知らせしました。



海上保安官が奄美のケーブルテレビに生出演

◇ 6月23日、奄美海上保安部の海上保安官2名が、奄美市内のケーブルテレビに1時間に亘り生出演、本格的な台風シーズンやマリンレジャーシーズン前に「台風海難防止」、「危険な離岸流のしくみと巻き込まれた時の脱出方法」などを呼びかけました。



来るぞ台風!
備えはよいか?!

1 大型船は安全な海域へ早期避難
2 小型船舶は陸揚げ・固縛
3 港内避泊の場合は保留強化

台風対策は早めの備えが重要です!
作業中はライフジャケットを着用して自身の安全も守りましょう!

台風海難防止強調運動

南九州海難防止強調運動推進連絡会議

海上安全指導員と合同パトロール ～海の事故防止を呼びかけ～

7月23日、奄美大島の名瀬港周辺で奄美海上保安部の海上保安官2名が海上安全指導員3名と合同パトロールを行い、釣り客やプレジャーボートの船長らに海の事故防止を呼びかけました。



プレジャーボート船長へ事故防止呼びかけ



釣り客へ事故防止呼びかけ

急患搬送

- ◇ 7月24日、鹿児島県危機管理局の要請で鹿児島航空基地の航空機が急患搬送を行いました。16時25分に鹿児島空港を出発、17時50分に奄美空港に到着、患者を消防救急隊から引継ぎ18時20分に奄美空港を出発、19時50分に鹿児島空港で患者を消防救急隊へ引継ぎました。
- ◇ 7月31日、鹿児島県危機管理局の要請で鹿児島航空基地のヘリコプターが深夜の急患搬送を行いました。21時19分に鹿児島空港を出発、23時5分に喜界空港に到着、患者を消防救急隊から引継ぎ23時20分に喜界空港を出発、23時48分に奄美空港で患者を消防救急隊へ引継ぎました。

浮き輪や浮き遊具に注意

“必ず救命胴衣を着用”

▶ 浮き輪や浮き遊具は、**脱落**や**転落**の恐れが

あります、特に**子供は危険**です。



▶ 浮き輪や浮き遊具は、**風に流され**ます。

▶ 浮き輪や浮き遊具を使用するときも

必ず救命胴衣を着用しましょう。

奄美群島の豊かで美しい海を守る海上保安官を奄美群島から

海上保安大学校



海上保安大学校
ホームページ

海上保安庁の幹部職員に必要な知識や技能を教授し、
心身の錬成を図るとともに、
海洋政策に関する調査研修をすることを目的とした、
広島県呉市にある教育機関です。

- 教育方針
1. 人格の陶冶とリーダーシップの涵養
 2. 高い教養と見識の修得
 3. 強靱な気力・体力の育成



本科

p18-21

- 受験資格…高校卒業後2年未満まで
(詳細はp60を参照)
- 教育期間…4年9カ月間

本科4年間、専攻科6カ月間、研修科(国際業務課程)3カ月間の計4年9カ月間の教育を受けます。本科卒業と同時に、学士(海上保安)の学位が取得できます。

【教育内容】

複雑化・国際化している海上保安業務に対応するために必要かつ高度な専門能力を身につけるとともに、航海、機関、情報通信の各専攻に分かれ、海技免状などを取得するために必要な海事系の専門的な知識を習得します。
※カリキュラムの詳細はp18を参照

専攻科(6カ月間)

本科を卒業後、練習船こじまで世界一周の遠洋航海実習を行い、海外寄港地での関係機関の見学や市民との国際交流により見聞を広め、国際感覚を養います。

研修科(国際業務課程)(3カ月間)

専攻科修了後、実用英語能力、国際関係知識などの国際業務対応能力、初級幹部として必要な実務能力を習得します。

初任科

p22-23

- 受験資格…大学卒業後30歳未満まで
(詳細はp60を参照)
- 教育期間…2年間

初任科で1年間の教育を受けたのちに、特修科に編入され、さらに1年間、計2年間の教育を受けます。

【教育内容】

本科生と同様、複雑化・国際化している海上保安業務に対応するために必要かつ高度な専門能力を短期間で身につけるとともに、航海、機関の各専攻に分かれ、海技免状を取得するために必要な海事系の専門的な知識を習得します。※カリキュラムの詳細はp22を参照

特修科(1年間)

初任科修了後、特修科(現場経験を経て選抜試験に合格した者の課程)に編入し、初級幹部として必要となる学術や技能を身につけます。